

CABIN 95

安全で快適な作業現場の創造を、共に。

スカイタワー WM05C1NS

西日本を代表する大型公立科学館
新商品の「コンパクトさ」が、閉館後作業の負担を軽減



スカイマスター SH15C1FS

電力の安定供給を支える配電線の保守・点検作業
「使いやすさ」にこだわった新商品が、高所作業をサポート

安全で快適な作業現場の創造を、共に。

電気・通信・建設工事・鉄道工事など社会のインフラ工事はかつて、人力による過酷で非効率な作業を伴うものでした。

アイチコーポレーションは、1962年(昭和37年)の創業から一貫して社会のインフラ工事に携わるみなさまの作業の安全・効率性の向上に向け機械化や新工法の開発・普及にお客さまと共に取り組んでまいりました。

今日の作業現場は、工事に関わる多くのみなさまの努力が実を結びかつてとは比べ物にならないほど、安全で快適また効率的になりました。

しかし、「安全や快適」「効率の追求」に終わりはありません。

アイチコーポレーションはこの「CABIN - 快適現場共創マガジン -」を通じてお客さまや社会のみなさまとともに安全で快適な作業現場を“共創”したいと願っています。

Contents

January 2021

02 CABIN - 快適現場共創マガジン - が伝えたいメッセージ

03 旬ネタ! IoTで、機械の稼働も異常も「見える化」へ 「SMART MESSENGER & INTELLIGENCE LINES SYSTEM」

08 Voice ~お客さまの導入事例①~ 大阪市立科学館さま 西日本を代表する大型公立科学館 WM05C1NSの「コンパクトさ」が、閉館後作業の負担を軽減

12 Voice ~お客さまの導入事例②~ 株式会社アイエスイーさま 電力の安定供給を支える配電線の保守・点検作業 「使いやすさ」にこだわった SH15C1FS が、高所作業をサポート

16 Think SDGs 車両塗装の「ステッカー化」で、環境保全に貢献

17 INFORMATION

19 災害シミュレーション

旬ネタ! 安全安心な作業環境づくりに役立つ
最新的话题をお届けします

IoTで、機械の稼働も異常も「見える化」へ 「SMART MESSENGER & INTELLIGENCE LINES SYSTEM」

SMIL

スマイル

「機械の稼働効率を上げたい」「機械の故障や注意を要する特定の操作などが見える化したい」
「機械の位置を把握し、災害時などの作業班の応援手配などにも活用したい」そんなお困りごとはありませんか?
今回は、アイチコーポレーションがご提供する新しいシステム『SMIL』をご紹介します。

「高所作業車・穴掘建柱車×IoT」で、 安全と効率化を次の段階へ。

『SMIL』はアイチコーポレーションの新しいサービスです。従来、作業現場で働く高所作業車や穴掘建柱車は、「作動の内訳や作動の時間」「今どこで作動しているか、していたか」といった情報が掴みにくいものでした。そこでアイチコーポレーションは、高所作業車や穴掘建柱車にIoT技術を組み合わせた新システム、『SMIL』を構築し、離れた場所から高所作業車や穴掘建柱車といった機械の情報を「見える化する」仕組みが生まれました。安全対策と業務や経営の改善に貢献するために。SMILは働く機械の「見える化」を実現します。

「見える化」4つのPOINT

- 1 機械の異常が見える化!**
機械の故障、注意を要する特定の操作などの異常を把握でき、解決へ導けます
- 2 機械の情報が見える化!**
機械の一台一台のデータを各職場に共有。自主的な改善へとつなげます
- 3 機械の課題が見える化!**
機械の隠れた課題を見つけだし、解決へ導けます
- 4 機械の位置が見える化!**
機械の最新位置情報を把握できるので災害時などの作業班の応援手配などにも活用できます

そもそもIoTって?

IoTとは、「インターネットとモノがつながる仕組み」のこと。機械に通信機能を持たせ、見ることや聞くことができない情報を数値化・テキスト化するシステムです。近年では、車の自動運転技術やスマートスピーカーなどにも運用されています。これによって離れた場所から機械の情報を確認・操作することが可能になります。



「見える化」で、どう変わる?

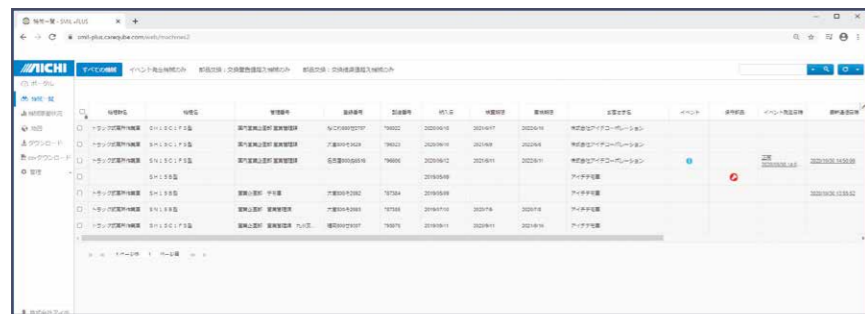
SMILの魅力、徹底解剖

現場で働く機械の「見える化」を実現する『SMIL』。情報を閲覧できる SMIL 専用サイトの機能をピックアップしてご紹介します。

魅力 その1 機械が一覧でわかる!

車両管理のお手伝い

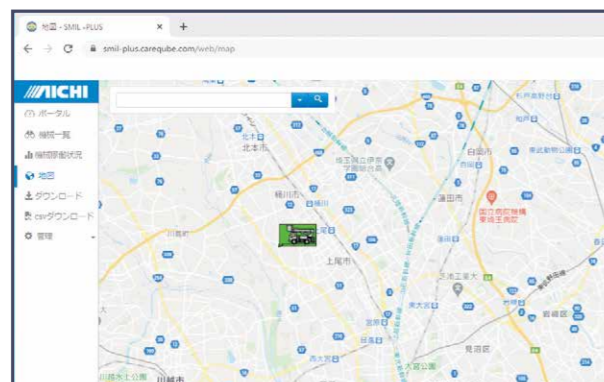
専用サイト内にて、SMIL が取り付けられている機械を一覧で表示・出力可能です。車両を特定する「登録番号」や「製造番号」をはじめ「車両の検査期限」も確認することができます。点検時期がわかるため車両管理を計画的に行うことができます。



魅力 その2 機械が作業した場所を地図上で見られる!

情報共有をよりスムーズに

機械が作業している最新位置情報を地図上に表示してお知らせ。遠隔地からでも変化する現場の位置を知ることができます。また機械異常の発見や緊急修理・作業班の応援手配などにも活用可能です。



※ Google マップを使用しています

魅力 その3 機械の異常をお知らせ!

機械のエラー情報や注意を要する特定の操作を見える化



専用サイトでは、機械の異常を詳細に記録。異常のある機械を絞り込めるだけでなく、過去の記録を見ることもできます。機械が修理を必要としないか確認することが可能で、修理費用の削減や機械の休車時間の短縮につなげられるようになります。また、この注意を要する特定の操作の内容を把握することにより、作業員への安全教育に活用可能です。

魅力 その4 SMIL 独自の機能!

レポート作成をお手伝い

作業した日、一日の機械の作業場所や稼働状況を把握できる「機械作動確認書」。WEBから印刷することで、作業日報としても活用可能です。



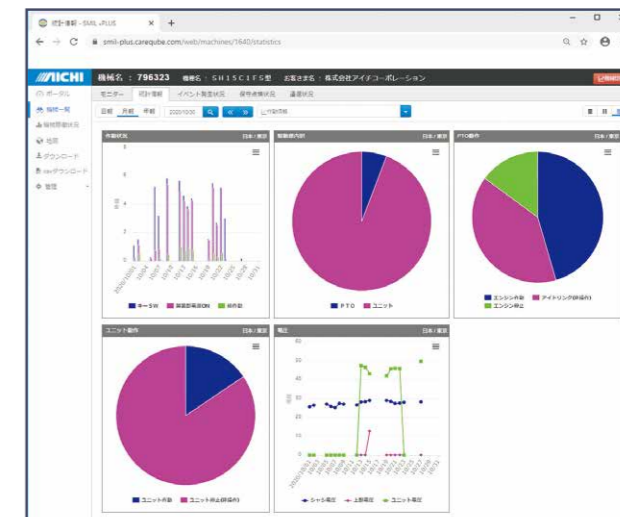
※ Google マップを使用しています

魅力 その5 機械の稼働状況を自動で統計!

機械の稼働把握にお役立ち

機械の稼働状況を時間・分単位で集計。エンジンや PTO[※]の作動時間、エンジンキーがオンになっている時間など、さまざまな情報を確認することができます。取得した情報は日報・月報・年報として自動集計されます。早朝・深夜の稼働記録まで、正確なデータを確認することができます。

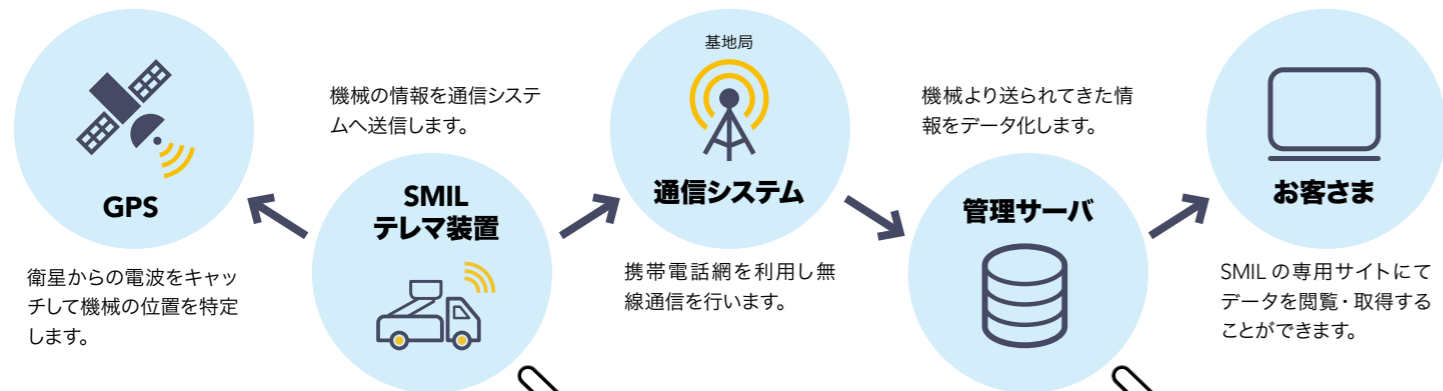
※パワーテイクオフ。架装部を動かすための動力をエンジンから取り出す装置のこと。



SMILの裏側を紹介!

お客さまに稼働データが届くまで

SMILの仕組み



情報の収集から送信までが自動で完結
 車両の電源が入ると、SMILも自動でオン。機械の情報を自動で集めて送信するため、最新の作動状況を知ることができます。

場所を選ばずに情報をチェック
 機械の情報は、インターネットに接続できる環境にあればいつでもどこでも確認可能。最新状況の把握にお役立ちします。

オプション機能でより情報共有をタイムリーに /

メール配信サービス

機械の異常をメールでお知らせするオプション機能もございます。専用サイトと併せてご利用いただくことで、タイムリーな状況把握が可能になります。ぜひご利用ください。

異常が発生したら
すぐにメールでお知らせ

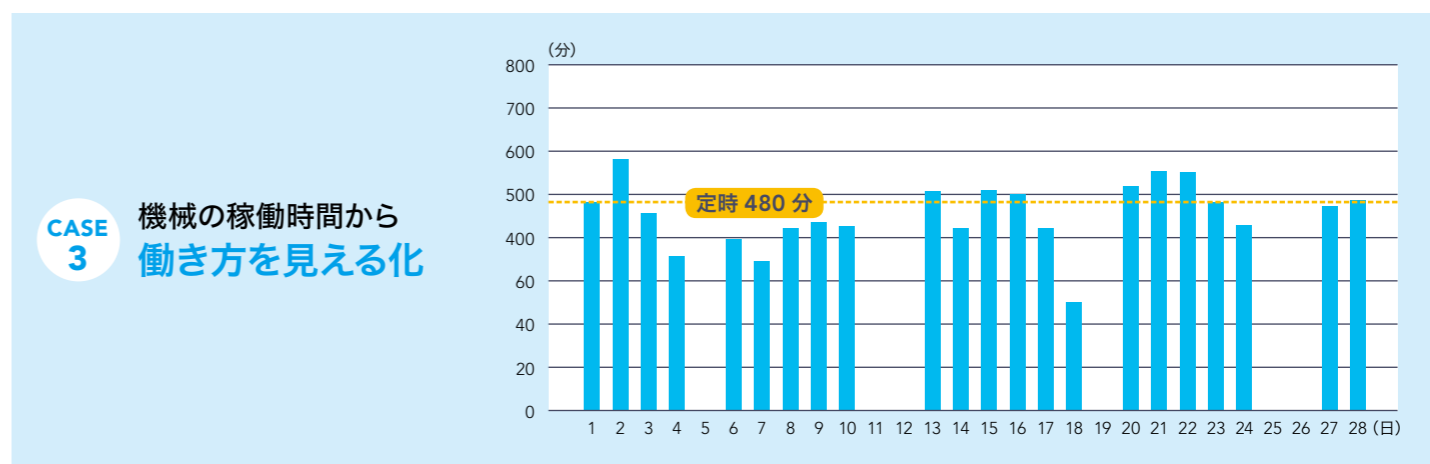
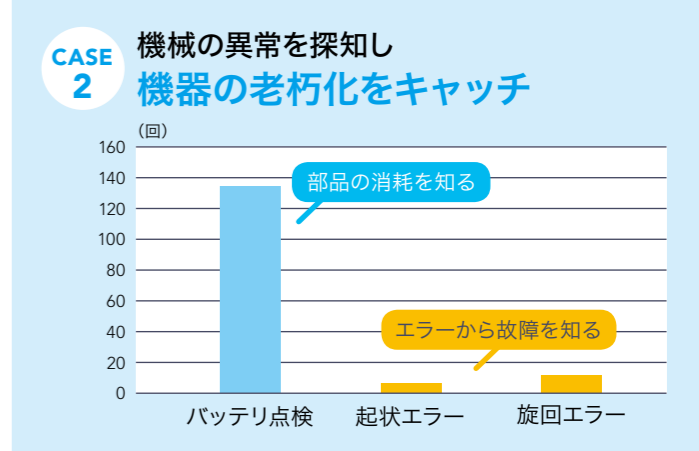
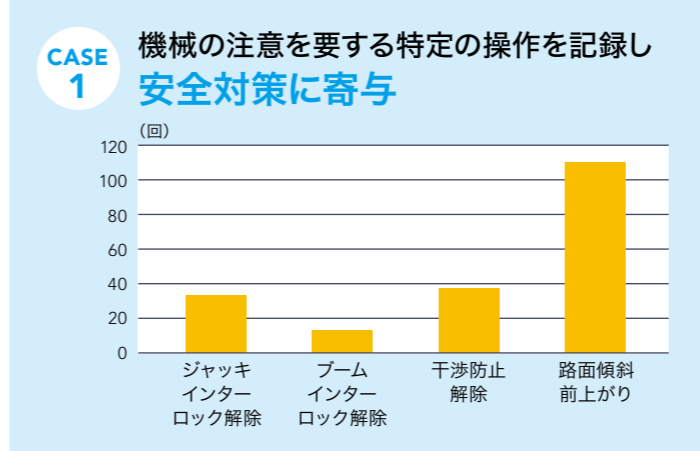
故障につながる
機械のエラーをカバー

サービス内容	
基本	SMIL WEB サイトによる情報閲覧
オプション	メール配信サービス

配信される異常情報の例

SMILのデータ活用例

ダウンロードデータの活用例をご紹介します。



interview 営業担当に聞きました



営業企画部 黒柳 遼一

データの「見える化」が安全で効率的な作業をサポート

「SMIL」によって、従来把握しにくかった高所作業車・穴掘建柱車の「いつ」「どこで」「なにをした」が見えるようになります。さらに、稼働データは現在だけでなく、過去にさかのぼって確認することもできます。

導入したお客様からは「稼働状況の把握に役立つ」「注意を要する特定の操作の把握に役立つ」、「機械の作業している場所が把握できて便利」といったお声を頂いています。これまでなかった・見られなかった機械の稼働データを使って、新しい変化をお客様とともに創っていきたく考えています。

SMILの紹介動画はこちらから!

～お客さま導入事例～

Voice

アイチコーポレーションの商品をご活用いただく
お客さまの「声」をご紹介します！

お客さまの導入事例①

地方独立行政法人大阪市博物館機構
大阪市立科学館 さま

身近な施設の「ウラ側」で使用されている
アイチコーポレーションの高所作業車

西日本を代表する大型公立科学館

WM05C1NSの「コンパクトさ」が、閉館後作業の負担を軽減

電気・通信の工事や、橋梁・トンネルの補修作業といった
場面で使用されるイメージが強い高所作業車。実は
アイチコーポレーションの高所作業車は、私たちの身近
な施設を支えていることをご存じでしょうか？



地方独立行政法人 大阪市博物館機構
大阪市立科学館 主任学芸員
総務企画課 総務企画担当係長
長谷川 能三 さま



地方独立行政法人 大阪市博物館機構
大阪市立科学館 総務企画課
設備担当副主任（取材時）
美川 真一 さま



共創ポイント

課題

従来機では高さが足りず、届かない箇所があった
またエレベーターの乗り降りに時間がかかっていた

ご提案・ 導入後 の成果

導入機種：スカイタワー WM05C1NS

- ・作業床最大地上高が増し、
従来機で届かなかった高所作業が可能に
- ・操作性が向上し、時間がかかっていた
一般用エレベーターへの搭載も簡単に

Company Data

大阪市立科学館

所在地：〒530-0005
大阪市北区中之島4-2-1
開館：1989年10月
事業内容：科学に関する展示・研究



「日本初のプラネタリウム」を継承する 歴史ある科学館

明治以来、大阪の文化・学術の中心を担ってきた中之島に、大阪市立科学館はあります。1989年に開館した同館は、日本初の科学館として東洋で初めてプラネタリウムを取り入れた「大阪市立電気科学館（1937年開館）」を継承する施設。現在も世界最大級のプラネタリウムや、科学の楽しさや奥深さを伝える工夫を凝らした展示で好評を博しています。

平日は大阪府内外の学校団体が多く訪れ、休日にも親子連れをはじめ幅広い世代の来館者で賑わいを見せています。年間来館者は70万人を超

え近年は訪日外国人観光客の来館も増えているそうです。まさに西日本を代表する科学館としてたくさんの人たちに愛されています。

4階建てながら「8階相当」の高さを持つ同館 大きな展示ができる分、高所作業の苦勞も

「お客様が何度訪れても飽きないよう、年3回程度さまざまな切り口で企画展を実施するほか、定期的に展示の入れ替えも行っています。」そう語るのは、同館で主任学芸員を務める長谷川能三さま。展示の入れ替えや施設・設備の保全作業は、来館者が帰られた閉館後

や休館日に実施されますが、来館者から見えない裏側ではさまざまな苦勞があるそうです。

「展示を動かすたびに照明の角度を調整しなければいけません。また、高いところに設置してある機器の調整をしたり、床から電源がとれない展示では天井から電源ケーブルを通したりと、展示に関わる高所作業は意外に多いんです。（長谷川さま）」

西日本を代表する科学館にふさわしく8階建て相当の大きな建物を持つ同館は、各階の天井の高さが一般的なビルの2倍近くある開放的な構造になっています。高さを活かしたスケール感のある展示ができる分、高所での保守点検は大変だったと総務企画課 設備担当副主任を務める美川真一さまは話します。

「高所作業車を導入するまで、手動の高所作業台を使っていましたが、手動なので作業床の上げ下げも、移動・設置作業も一苦労。現在の5倍近い時間がかかる作業だったんです。」



スライド式拡張デッキによって作業範囲が拡大。無理のない高所作業が可能に。「背の高い展示もありますから、高所作業車は欠かせません」と長谷川さま。

「サイズは大きくならず 最大地上高 1m 増」が決め手

そんな悩みを抱えていた同館は、16年前にアイチコーポレーションの高所作業車を導入しました。そして今回、機器更新で導入した新商品「スカイタワー WM05C1NS」は、従来機と比べ作業床の高さが約1m増して4.78mとなり、「スライド式拡張デッキ」によって作業床の面積が最大1.4倍まで広がっています。これだけ作業範囲が大きく拡大しているにも関わらず、幅・大きさは従来機と変わらずコンパクト。操作性も向上したことで、間口が狭い一般用エレベーターでもスムーズに乗り降りできるようになりました。



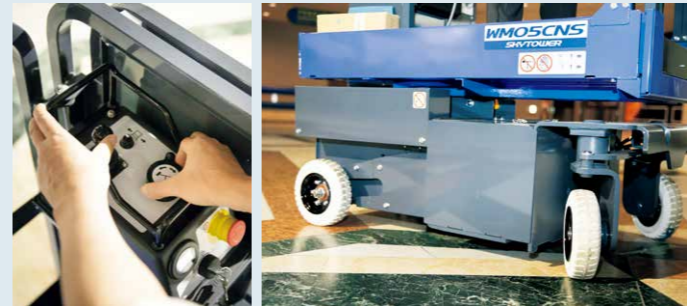
コンパクトなので、同館の一般用エレベーターにもスムーズに乗り降りが可能。

「実は従来機では、一発ではエレベーターに乗せられず、なかなか作業に移れないことも多

かったんです。速度調整にコツが必要で低速運転も容易ではなく、何度も位置合わせややり直しをして、やっとの思いでエレベーターに乗せていました。一方、スカイタワー WM05C1NS は微妙な速度調整もできジワジワと低速で走行できるようになった上に、『プロポーショナルステアリング』によって正確で細やかな走行操作も可能になりました。今では難なくエレベーターに乗り降りできるようになっています。(美川さま)

また長谷川さまは、「従来機に採用されていた『後輪操舵』には幅寄せしやすいなどのメリットがあったものの、転回方向に慣れるまで時間がかかり、移動の際に不便さを感じることもありました」と振り返ります。前輪が動く『前輪操舵』に変更されたスカイタワー WM05C1NS では、車と同じように直感的な操作が可能になり、操作性向上を実感しているそうです。

4階建ての広い施設を有する同館。保全作業が必要な階へと速やかな移動ができ、すぐに作業に取り掛かれるため、作業時間の短縮につながっています。



細やかな走行操作を実現する「進行方向が直感的に理解しやすい」と好評の前輪操舵プロポーショナルステアリング

高所作業車があるからこそ できる作業・できる展示がある

新商品は、同館にどんな効果をもたらしたのでしょうか。
「スカイタワー WM05C1NS を導入するまで、脚立や従来機では届かない高所の作業は、初めから諦めていました。しかし作業範囲が拡大したスカイタワー WM05C1NS によって、作業を諦めていた場所にも照明や展示物を設置することができるようになりました。今までできなかったことが安全にできるようになったわけですから、今やスカイタワー WM05C1NS は欠かせない存在です。欲を言えば『後輪操舵』『前輪操舵』の2種の運転方法を任意で切り替えられる機能があれば、さらに自由自在に操作できるのではと期待が膨らみますね。(長谷川さま)」

実は身近なところでも活躍しているアイチコーポレーションの商品。屋内の高所作業にも対応するコンパクトな商品が学術や文化の普及にも陰ながら貢献しています。



スカイタワー WM05C1NS

アイチコーポレーションの公式サイトと公式 Youtube チャンネルでスカイタワー WM05C1NS の魅力を解説中!



公式サイト



Youtube
チャンネル



User's Voice
美川 真一 さま

維持・管理のしやすさも 決め手のひとつ

従来機を使用していた時、バッテリー液の補充のタイミングを逃してしまい、バッテリーをだめにしてしまったことがありました。新商品「スカイタワー WM05C1NS」はバッテリー液の補充が不要になったので、維持・管理が楽になりました。またアイチコーポレーションさんには、いつも細やかにサポートやメンテナンスをいただいているので、安心して保全作業に集中できます。大変頼もしく感じています!



AICHI's Voice
株式会社アイチコーポレーション
関西支店 営業二課
長木 亮

「作業床の高さ」「コンパクトさ」「操作しやすさ」 どれをとっても展示施設に最適です!

スカイタワー WM05C1NS への代替えのご相談をいただき、改めて科学館の館内を拝見しましたが、展示を鑑賞する動線が複雑で、高所作業車の保管場所もエレベーターから離れていることがわかりました。約1m高さが増しながらも車体の大きさが変わらず、操作性も向上したスカイタワー WM05C1NS が作業効率向上のお役に立てると考え、提案させていただきました。サポート体制が心強いと感じていただけることは、非常に光栄です。今後ともお困りの際は、気兼ねなくご相談ください!

mini Voice

学芸員の個性あふれる生解説に注目!

大阪市立科学館は、学芸員の生解説を大切にしています。これは前身の電気科学館から続く伝統なのだそう。

プラネタリウムにて土日の夕方 17:00 から上映される「学芸員スペシャル」では、「流星群」「江戸時代の日本の星座」など学芸員それぞれが得意とする分野にちなんだ解説を聞くことができます。その他の展示でも天文学や物理学・化学の学芸員11名それぞれの楽しくも奥深い工夫が盛り込まれています。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、スケジュールは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。



SNS での情報発信にも力を入れている同館学芸員のみなさん

お客さまの導入事例②

株式会社アイエスイーさま

生活に欠かせないインフラを守るアイチコーポレーションの高所作業車

電力の安定供給を支える配電線の保守・点検作業

「使いやすさ」にこだわった SH15C1FS が、高所作業をサポート

株式会社アイエスイー
代表取締役
岩木 定雄 さま



配電線のメンテナンスでは、一般道に車両を設置するさまざまな制約の中で作業する場合があります。そこでは、現場の課題に応える新たな高所作業車を開発しました。



共創ポイント

課題

従来機では設置占有幅が確保できず、諦めざるを得ない作業があった
また作業場所によっては安全面の確保に苦心した

ご提案・導入後の成果

導入機種：スカイマスター SH15C1FS
・無段階アウトリガーにより、アウトリガー張幅に応じて、**最大限の作業範囲を確保**でき、狭い道での作業性が向上
・ジャッキストロークの拡大により、**車体傾斜補正能力が向上**したことで、より多くの現場への対応が可能に

時代のニーズに合わせて変化を続ける

兵庫県・姫路市。瀬戸内海の城下町に、株式会社アイエスイーさまは拠点を置いています。同社は高所作業車が普及する以前の1969年に創業。その後、電力インフラの構築・保全を行う株式会社かんでんエンジニアリングさまの協力会社として、住宅街などに欠かせない配電線の保守・点検作業を担っています。

創業当初から長きにわたり地元・姫路のインフラを支えてきた会社ですが、バブル経済後の90年代初頭から徐々に事業を拡大します。

代表取締役を務める岩木定雄さまは、「ちょうどその頃、インフラ整備のための配電工事はほぼ完了して仕事量も減っていたんです。そこで新たにケーブルテレビやインターネットなどの通信回線工事へと目をつけました。」と振り返ります。

上記にとどまらず、同社はさらに事業領域を拡大。今では配電線の点検作業に加えて、山中での伐採作業や産業廃棄物の収集・運搬など、配電工事にまつわるさまざまな作業を一括で請け負う企業となりました。

「積極的に新しい分野にも挑戦し、事業の幅を広げてきました。配電設備を取り巻く全ての作業が事業領域なんです。」時流に乗るだけでなく将来のニーズを見据えた施策で事業の可能性を広げてきた会社。その躍進を支えたのが、アイチコーポレーションの高所作業車でした。

「元々、配電線のメンテナンスは人が直接電柱に登ってメンテナンスをしていました。だからこそ作業回数が増えていくと、安全面が課題として浮き彫りに。それを解決してくれたのが、アイチコーポレーションの高所作業車です。感電・墜落といった事故の防止に効力を発揮してくれました。」

人手のみで配電線工事が行われていた頃は、1日70回近く電柱の昇降が繰り返されていました。

「高所作業車によって、作業の効率と安全性が一気に上がりました。今では私たちの作業に無くてはならない存在です。」

アイチコーポレーションの高所作業車は、作業現場の安全を担保し作業の効率化に貢献することで、同社の幅広い事業領域を強力にサポートしています。



「社員の個性はさまざま。一人ひとりが強みを最大限発揮できる企業を目指しています」と岩木さまは語ります。

作業現場の声から生まれたのが「無段階アウトリガー」でした

「私たちの高所作業は狭い道路で行うことも多く、車両設置後に往来を妨げてしまうような現場では作業自体を諦めることもありました。」作業現場で主任を務める森田造次さまは、そう振り返ります。

作業現場付近の道路は、民家が立ち並ぶ一帯など作業場所の確保が難しい場合もあります。そのような場所に、車両を設置してから作業する位置まで作業床を移動させる一連の工程は手間と時間がかかり、工事を行う上で大きな負担になっていたそうです。

そんな同社の悩みを解決しようと担当営業の吉田がご提案したのが、「スカイマスター SH15C1FS」でした。

「アイエスイーさまの作業を実際に拝見すると、車両設置スペースを確保できても、車両の外にカラーコーンを置くと通行する人や車の往来を妨げてしまうことが分かりました。『あと十センチ設置占有幅を調整できれば上手くできるのに……』という作業員の方のもどかしさを感じ取ったんです。そこで、「無段階アウトリガー」が新たに標準装備された「スカイマスター SH15C1FS」をご提案しました。(吉田)」

SH15C1FSでは、車体の安定性を支える「アウトリガー」の張出範囲が4段階から無段階へ拡大。アウトリガーの張幅に応じて、作業範囲がきめ細かく変化することで、限られた車両設置スペースでも最大限の作業範囲を確保できます。さらに、アウトリガーの張出幅などが一目で分かる「マルチインフォメーションディスプレイ」を標準装備したことで、車両情報を瞬時に読み取ることも可能になりました。

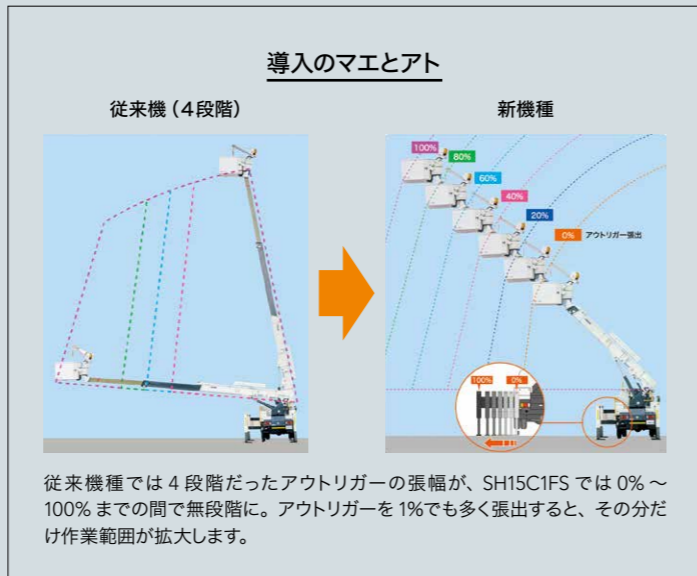
「道路上での作業では、車両設置スペースは狭ければ狭いほど良い。SH15C1FSでは、従来機よりも限られた車両設置スペースで広い作業範囲を取ることができるようになりました。(森田さま)」



狭い場所での高所作業を実現する無段階アウトリガー



アウトリガーの張幅や路面の傾き、バッテリー状態などをリアルタイムで表示するマルチインフォメーションディスプレイ



高所作業車が作業の効率化と安全性の向上を同時に実現

アイエスイーさまでは、重量物である変圧器の吊り上げ作業も行います。SH15C1FSでは、車体前方の作業範囲が最大1m拡大したため、作業位置を調整する際の手間が大幅に削減できたそうです。

「従来機では、変圧器を吊ったバケットが作業位置に届かなかった場合、変圧器を一旦下ろし、高所作業車を移動した後で変圧器を乗せた別の車両を設置しなおす必要がありました。SH15C1FSを導入してからは車両の再設置が減り、作業全体がスピーディーになった実感があります。(森田さま)」

また森田さまは、「従来機では、傾斜地での作業は車体の角度の調整にコツが必要だったんです。SH15C1FSはジャッキストロークが伸びた分、車体を設置しやすくなりました。」と振り返ります。特に急な坂道のある山中では、いつも以上に気を配る場面もあったとか。車体を支える足となる「ジャッキ」のストロークが65mm伸張したSH15C1FSでは、地面の傾きが大きい場所でも車体が安定していると実感されているそうです。



車体前方の作業範囲が最大1m拡大



ジャッキストロークが65mm伸張したことで、傾斜地の車体の安定性を確保



設置占有幅がコンパクトになったことで、一車線以上の道路幅確保が可能に。

「SH15C1FSを導入してから、作業の安全性と効率が格段にアップしました。さらにお願するならば、アースリールを巻き取る際にケーブルが絡まってしまいうこともあるので、巻き取り部分にカバーがあると手間を省けて助かりますね。(森田さま)」

安全面の確保と作業の効率化が常に求められるインフラ整備。アイチコーポレーションは作業現場のニーズに応じて商品の改良を続けています。作業現場の安全と効率化への追求が、今日も人々の快適な暮らしを守っているのです。

スカイマスター SH15C1FS

アイチコーポレーションの公式サイトと公式 Youtube チャンネルでスカイマスター SH15C1FS の魅力を配信中!



公式サイト



Youtubeチャンネル



Company Data

株式会社アイエスイー

所在地：〒671-2201
兵庫県姫路市書写 906-5

設立：1969年9月
事業内容：電気工事業・その他



User's Voice
株式会社アイエスイー
森田 造次 さま

手厚いサポートがあつての高所作業

人手不足が懸念される作業現場では、中途で入社された方や初心者の方でもできるだけ早く作業を覚えていただくことが重要です。SH15C1FSではマルチインフォメーションディスプレイで車体の状態を確認できるので、作業経験の有無に頼らずとも安全な操作が可能になりました。アイチコーポレーションさんの手厚いアフターサービスのおかげで、安心して作業にあたれています。これからもよろしくお願します!



AICHI's Voice
株式会社アイチコーポレーション
関西支店 営業一課
吉田 雄哉

毎回の訪問が「改善の場」です

訪問活動では、積極的に作業員の方にお話を伺ってお困りごとをヒアリングしています。一方、お客さまは面と向かって改善点を指摘しづらいことも。だからこそ、自分自身の目で作業現場を観察し、潜在的なニーズをくみ取ることを心掛けています。今後も「作業現場の安全と効率化」を一番に、現場の声を改良につなげていきます。ご要望やご意見がありましたらぜひお聞かせください!

Think SDGs

～自然にも社会にもやさしい、作業環境のために～

「作業環境創造企業」を目指すアイチコーポレーション。
SDGsのためにできることを、お客さまとともに考えます。



持続可能な開発目標SDGs (エス・ディー・ジーズ)とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



アイチコーポレーションの取り組み

アイチコーポレーションでは、作業環境創造企業としての経営理念に基づき、経済発展と豊かな社会づくりに貢献すべく、事業活動を行なっております。

私たちは、この事業活動全体において、地球環境保護と経済発展の両立を目指し全社一丸となって取り組んでいます。

CO₂ 排出量の削減

事業所の活動全般におけるエネルギー使用を削減し、CO₂ 排出量の最小化を目指します。また、環境に配慮した商品を開発しています。

※ VOC: 揮発性有機化合物のこと。光化学スモッグを引き起こし、人体に悪い影響を及ぼします。

廃棄物の削減

資源使用量を最小化し、廃棄物を発生させない生産活動を目指しています。

VOC^{*} 排出量の削減

環境負荷物質を発生させない生産活動に組み、環境リスクを最小化し汚染の予防に努めています。

車両塗装の「ステッカー化」で、環境保全に貢献

アイチコーポレーションでは、お客様とともに SDGs の達成を目指すべく高所作業車にて車両塗装の「ステッカー化」を推進しています。



部分塗装の場合

使用後のマスキング紙は塗装が付いているため再生不可能に。

このマスキング紙は全て廃棄物になります



一部の塗装を行うために、照明や乾燥させる熱源が必要になります

車両の「ステッカー化」事例

ステッカーへの切り替えによる1回の塗装削減でブナの木^{*}約20本が1年間で吸収できるCO₂ 排出抑制効果が得られます。

※ ブナの木1本の年間吸収量は約11kg (独立行政法人 森林総合研究所調べ)



INFORMATION

アイチコーポレーションからのご案内

New Product 新商品情報



スカイマスター SH15C1FS (オプション装着車)

スカイマスター SN15C1FS (オプション装着車)

主要諸元

型式	SH15C1FS	SN15C1FS
最大積載荷重	250kg (2名)	
最大地上高	15.1m (スライド昇降 0.5m 含む) /14.6m*	14.6m (スライド昇降 0.5m 含む)
最大作業半径	11.1m/11.7m/11.8m*	10.9m

※グレードにより異なります。

「変化する現場に柔軟な対応力を」15m クラスの高所作業車

「スカイマスター SH15C1FS」

「スカイマスター SN15C1FS」発売

配電工事や電気工事をメインに活躍する15mクラスがモデルチェンジ。さらなる安全性と生産性を追求した高所作業車にて、お客さまの現場をサポートします。

無段階アウトリガー

アウトリガー張幅規制を従来の4段階から無段階にすることで、「限られた車両設置スペースでも最大限の作業範囲を確保したい」という現場の声を形にしました。

※ SN15C1FSは張出0%～40%の範囲で無段階張出となります。

作業範囲の拡大

車両前方側における「低空領域」および「ウインチ使用時」での作業範囲を拡大しました。また、全周作業範囲も拡大しました。従来機よりも作業範囲が広がることで生産性向上に寄与します。

マルチインフォメーションディスプレイ

下部操作装置に4.3インチの液晶カラーモニターを標準装備。車両情報をリアルタイムに表示し、安全作業をアシストします。



「あとちょっと届いたら良いのに」という現場の声に応えるため、無段階アウトリガーを採用。アウトリガーの張り幅と作業範囲の関係が比例するために計算結果と実作動の検証を綿密に行いました。手すりやステップ間隔の見直しによる昇降性の向上など、使い勝手の向上にもこだわった商品です。(商品開発部 藤野)

New Product 新商品情報



主要諸元

型式	WU09B1RN
最大積載荷重	230kg
最大地上高	9.0m
最大作業半径	6.2m

「障害物をかわして様々な作業対象へアプローチ」自走式高所作業車

「マックスリーチ WU09B1RN」発売

ジブ付き伸縮ブームと起伏リンクを組み合わせたアップ&オーバー型作業装置が現場でのスムーズな作業を実現します。

障害物をかわしてのアプローチが可能

起伏・旋回が可能な先端ジブによる広い作業範囲を確保しました。設備が密集した屋内現場でも快適な作業をサポートします。

安全走行をアシスト

プロポーションステアリングを採用しました。操作ダイヤルの回転に比例して前輪がステアリングし、手を離すと中立に戻ります。操舵性が良く、安全で正確な走行に寄与します。

高い操作性を実現

各操作の作動速度を無段階に調整できる比例制御方式を採用しました。操作フィーリングの向上により、安全かつ正確な操作に貢献します。



「効率化」と「安全性」を両立させたい— その思いから、徹底した安定度計算やさまざまな負荷条件・環境を想定した強度計算を行い、コンパクトな車両サイズや広い作業範囲等を実現しました!ウィークポイントであったリンク部のホース破損は引き回しの配列やレイアウトの工夫により、品質を向上させました。(商品開発部 福島)

Guidance of the system 支援制度のご案内

「人材開発支援助成金制度」のご案内

アイチ研修センターでは、事業主の皆さまに「人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース）制度」をご案内しています。この制度では、建設労働者が有給で技能実習を受講する場合に、建設事業主*の皆さまに対して賃金の一部を助成するものです。大切な人材の育成に、ぜひ当制度をご利用ください。

制度利用の流れ

- 受給対象の条件を確認
- 「各講習会仮申込書」にて講習を予約
- 技能講習を受講
- 助成金関連の資料を確認
- 必要書類一式を提出

※この制度を活用できる建設事業主は下記のとおりです。
建設事業主が、
・中小建設事業主であること
・「建設の事業」として雇用保険料率の適用を受けていること
・雇用管理責任者を選任していること
受講者が、
・雇用保険の被保険者である建設労働者であること
・業務により有給（賃金が支払われる）で受講すること

受給対象や助成額など詳しくは
アイチ研修センターのHPをご確認ください。

<https://www.aichi-kensyu.co.jp/support/>



Public Relations PR 情報

公式 YouTube チャンネルで 商品動画を公開中!

アイチコーポレーションでは、公式 Youtube チャンネルを随時更新しています。動画では商品の特長や使用方法をわかりやすく解説中。ダイナミックな映像も見どころです。ぜひご覧ください。



チャンネル登録で
最新動画を逃さずチェック!

商品動画ラインナップ

- ・スカイタワー WM05C1NS (P8) /RM05C1NS
- ・スカイマスター SH15C1FS (P12) /SN15C1FS
- ・スカイマスター SH・SK12C シリーズ
- ・スカイマスター SH・SK10/11C シリーズ
- ・ブリッジマスター SF77B1FR/SF77A IV
- ・ポールマスター D50B1FS/D70B1RS
- ・遠隔モニタリング&データ活用サービス SMIL P3 NEW

本誌でも
詳しく解説中!

公式 Youtube チャンネル内「動画一覧ページ」

https://www.youtube.com/channel/UC4VjiUCY7yTc3wV_YQOogjg



CABIN 95

キャビン 95号

2021年1月6日発行 株式会社アイチコーポレーション 営業企画部 企画統括課 編集
※本誌掲載の写真、イラスト、記事の無断転載・複製はご遠慮ください。

株式会社 アイチコーポレーション
<https://www.aichi-corp.co.jp>



- | | | |
|--------------|--|----------------------|
| 本社 | 〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の 10 | TEL:048-781-1111 (代) |
| 広域レンタル・鉄道営業部 | 〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4 | TEL:048-852-1421 (代) |
| 北日本支店 | 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 3-4-8 | TEL:022-236-0421 (代) |
| 北日本支店 北海道 | 〒063-0834 北海道札幌市西区発寒 14 条 4 丁目 2-70 | TEL:011-665-1301 (代) |
| 関東支店 | 〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4 | TEL:048-852-1104 (代) |
| 中部支店 | 〒459-8001 愛知県名古屋市中区大高町丸の内 70-1 | TEL:052-621-5112 (代) |
| 中部支店 北陸 | 〒930-0177 富山県富山市西二俣 354 | TEL:076-434-2181 (代) |
| 関西支店 | 〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-9-56 | TEL:06-6307-4567 (代) |
| 中四国支店 | 〒739-0151 広島県東広島市八本松町大字原 10852-57 | TEL:082-429-2011 (代) |
| 中四国支店 四国 | 〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 59-7 | TEL:087-874-0808 (代) |
| 九州支店 | 〒811-2207 福岡県粕屋郡志免町南里 2-26-1 | TEL:092-935-5353 (代) |
| 九州支店 サテライト沖縄 | 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾 2 丁目 17-29 タウンコート玉商 B 棟 6-G | TEL:098-867-7337 (代) |

機械化車両を安全にお使いいただくために

災害シミュレーション

実際に
やってみた編

No.51

高所作業車はじめ建設機械を使用する際は、正しい手順・ルールに従うことが必要です。ちょっとした見落としや安易な手順の省略が思わぬ災害ヒヤリハットにつながります。アイチコーポレーションの新入社員と一緒に、安全な機械化車両の使い方を確認しましょう。



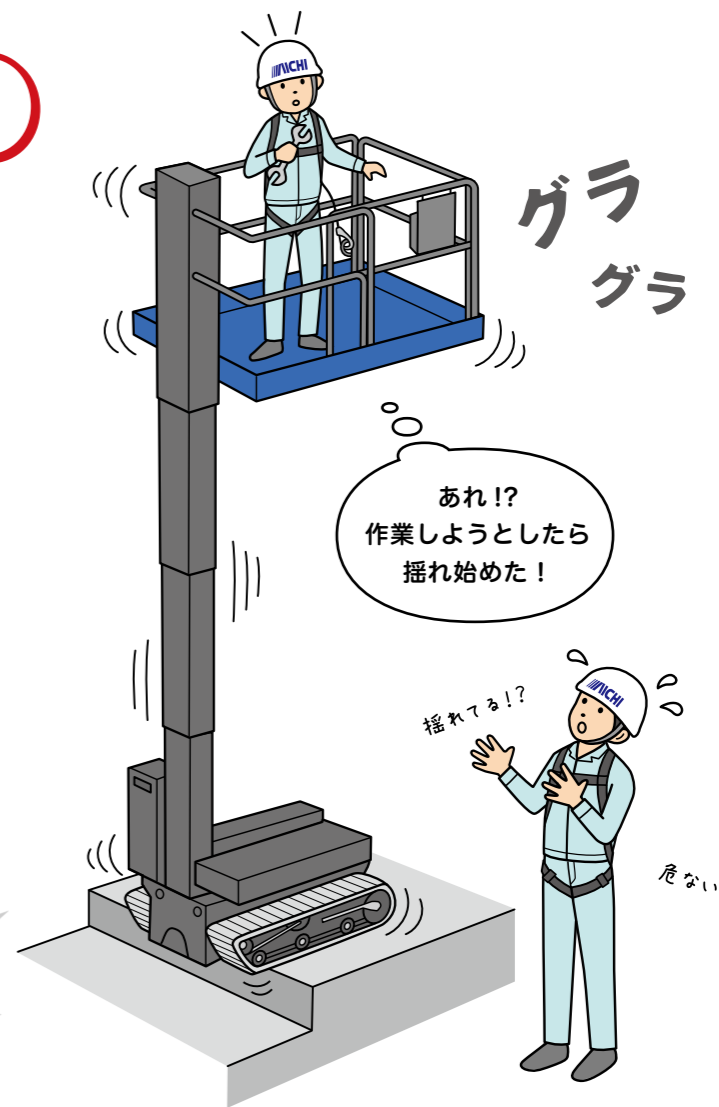
経営企画部 広報課 今井

アイチ研修センター 高橋

間違いはどこ!?

突然バランスが崩れて転倒!?

作業を開始しようと
作業床の上昇を始めると
突然車体のバランスが崩れ
転倒してしまった…。



いけません!
このままでは
事故につながりますよ!

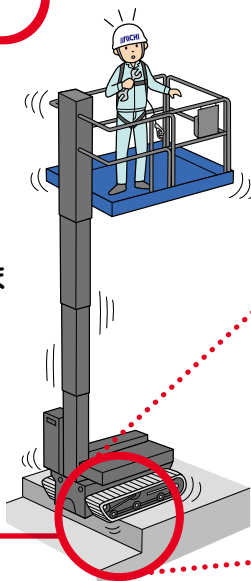
安全作業は次のページ ▶▶

災害シミュレーション

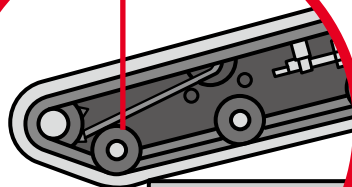
間違いはここ！

2

不安定な状態のまま
作業床を
上昇させている！



1 段差からクローラが
はみ出している！



実際にやってみた！ 安全作業

① 傾斜地や軟弱地盤など
不安定な地盤でないか
足元を確認する

右よーし！



② 車両設置位置に
目印を設置する

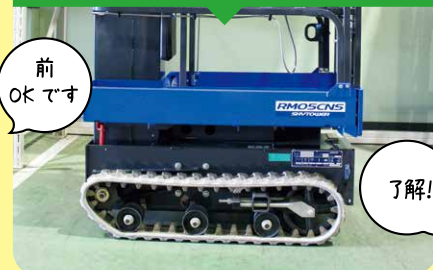
はい
ここまで



③ クローラが段差から
はみ出していないか確認する

前
OKです

了解！



作業床を上げてても安定する状態か確認を

基本を守って
安全に！

今回の災害事例は、段差からクローラがはみ出した不安定な状態で作業床を上昇させていたため、作業者の動きでバランスを崩して転倒したものです。本機は水平堅土上で使用してください。傾斜地、凹凸地盤、段差がある路面および軟弱地で使用しない

てください。また作業床が下がっている状態で車体が安定していても、作業床を上昇させた場合に重心が上がり、車体も不安定になる恐れがあります。

高所作業車をご利用いただくに当たり常に正しい操作と正しい取り扱いを行って

ください。アイチ研修センターでは資格取得講習のほかに高所作業車の取り扱いに関する安全体感教育や技能向上教育なども実施していますので、高所作業車の教育についてお気軽にお問い合わせください。



協力：アイチ研修センター

※アイチ研修センターでは、各教習所で研修を実施しております。詳しい情報はアイチ研修センターまでお問い合わせください。

